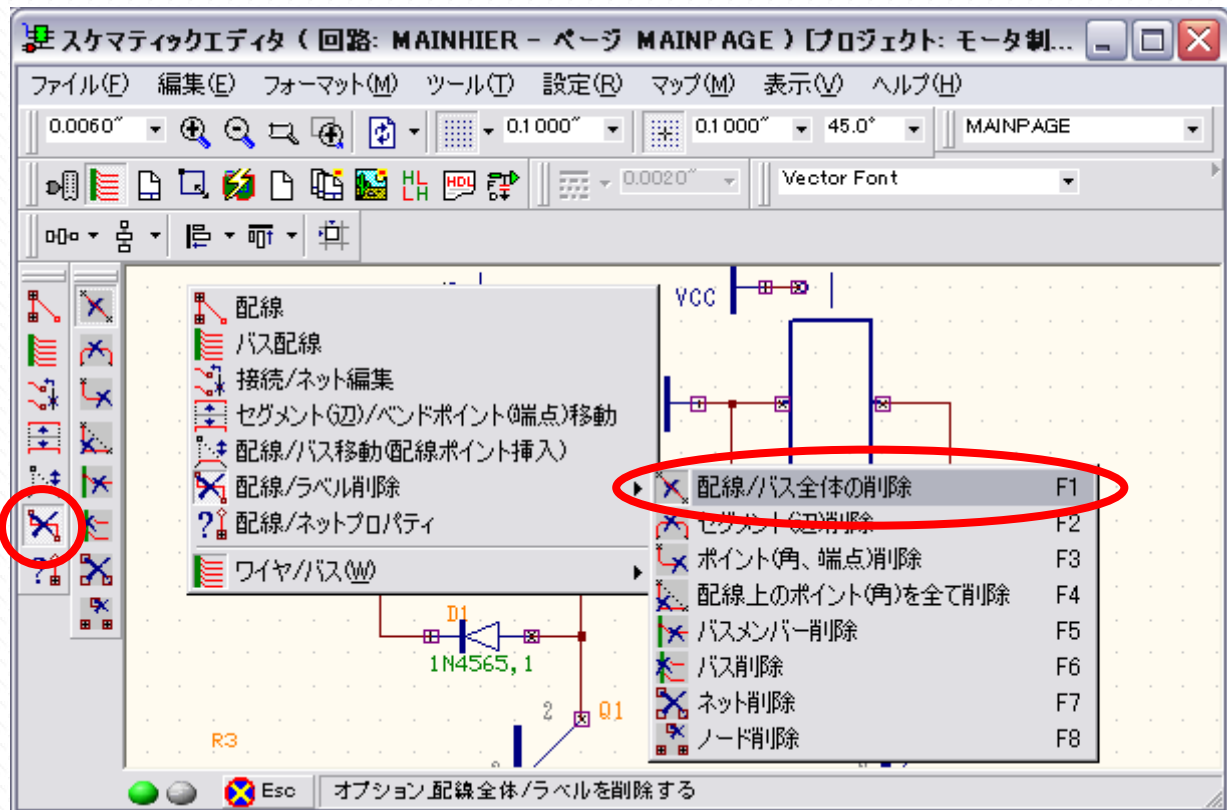
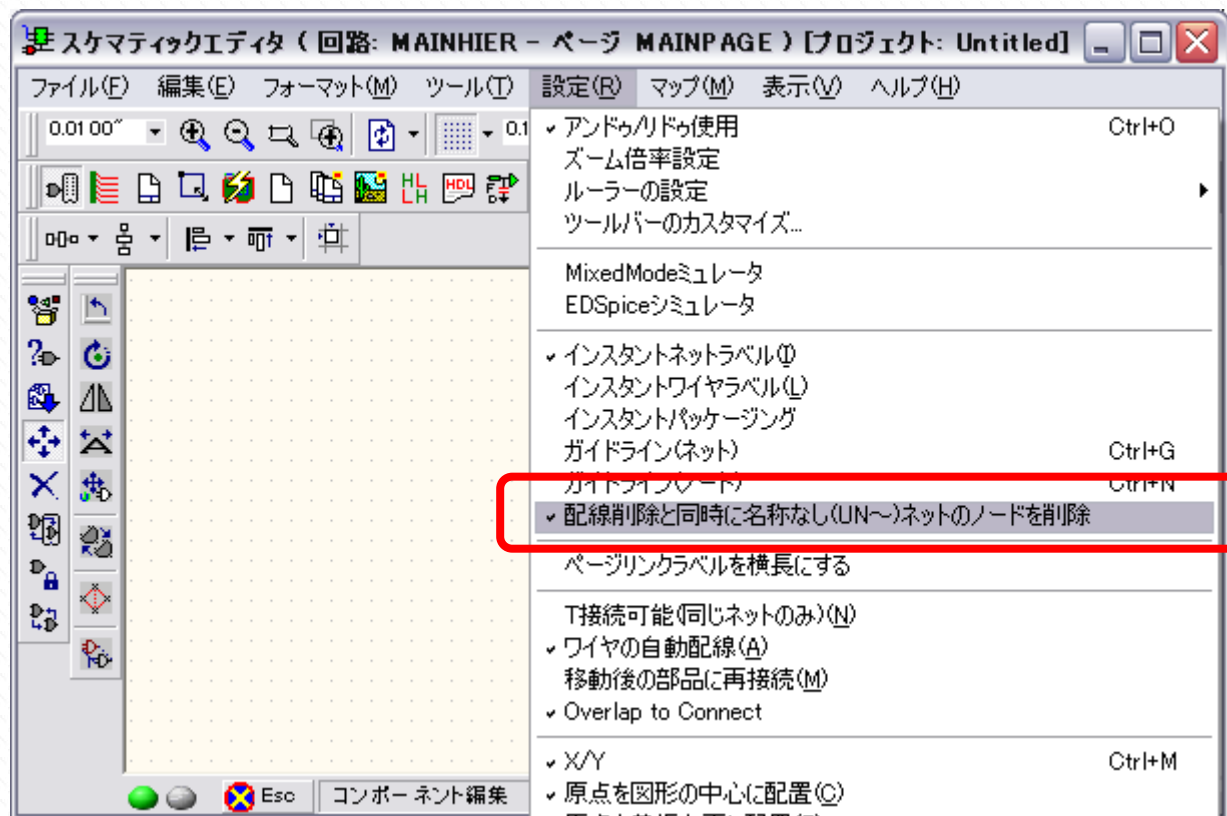


1. スケマティック：ワイヤ・ネット削除

ツール“ワイヤ”を選択、ファンクションツール“配線の削除”を選択、オプションツール“配線/バス全体の削除”を選択

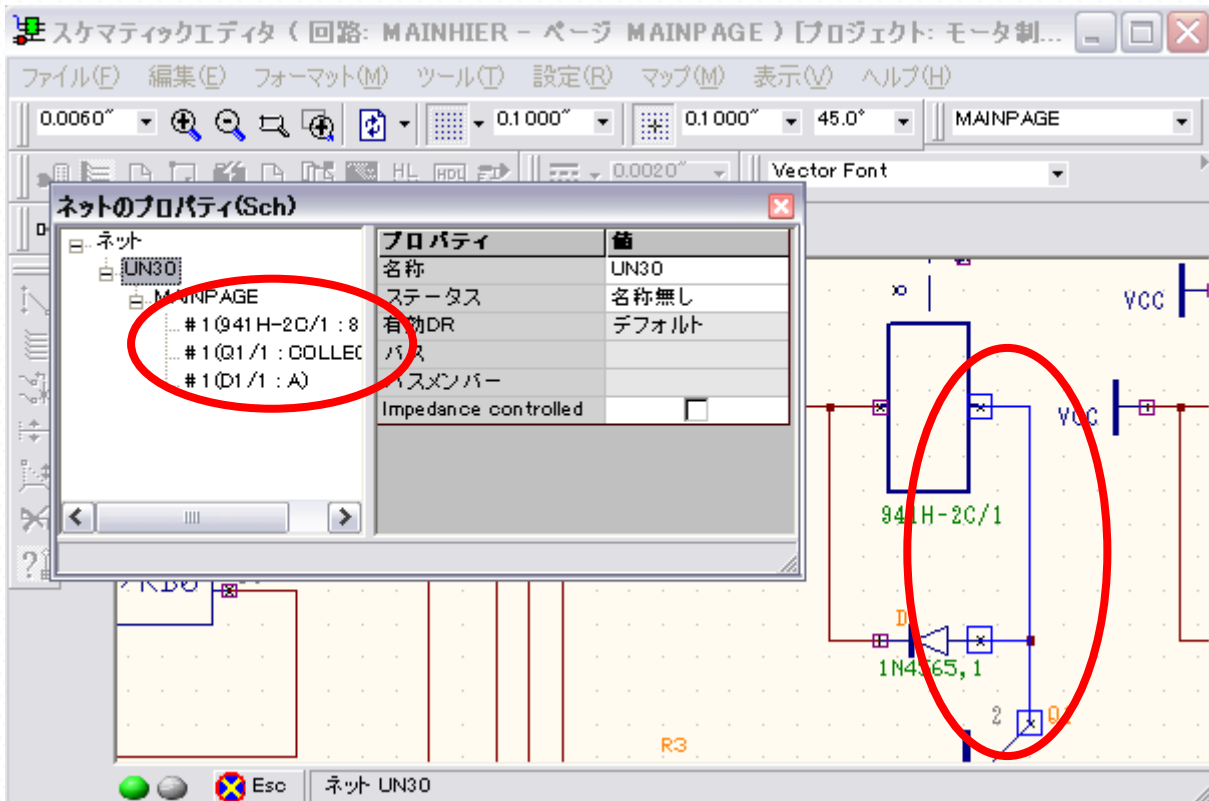


メニュー“設定/配線削除と同時に名称なし(UN~)ネットのノードを削除”にチェックを入れます

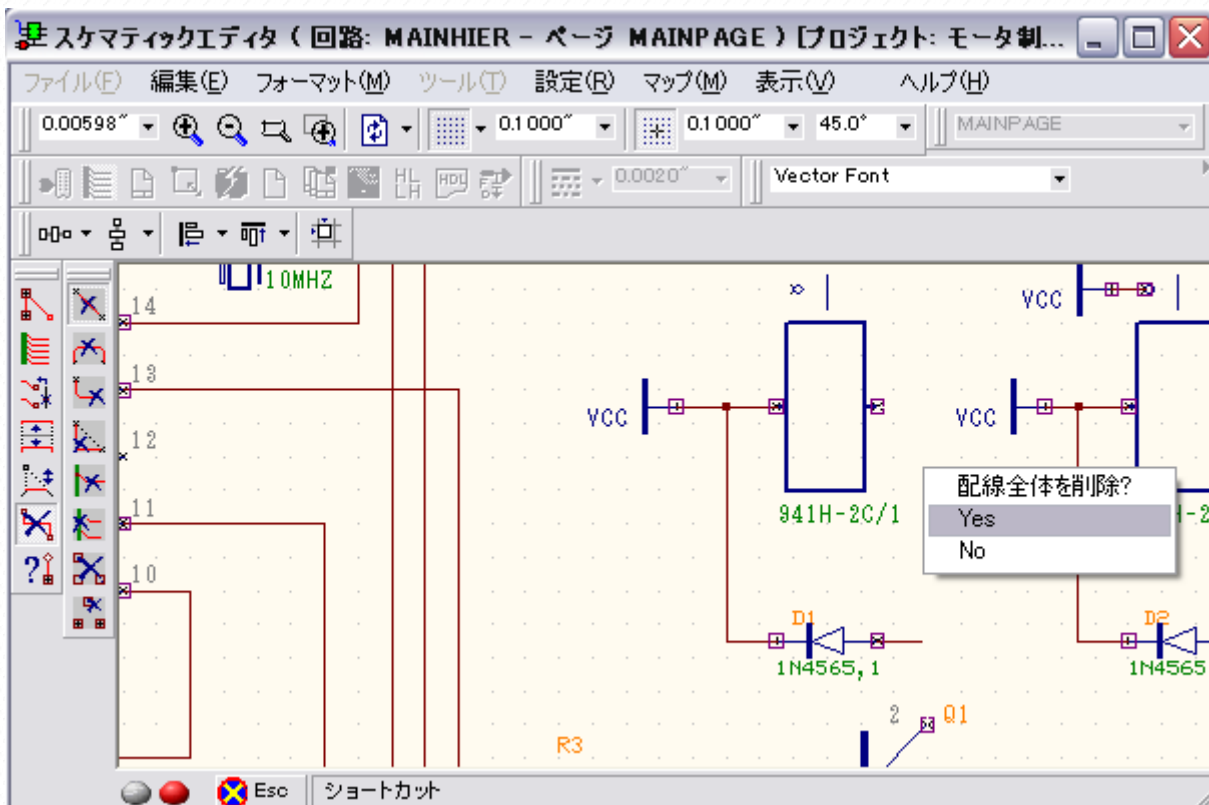


配線が作成された箇所には、接続情報（ネット）が作成されています。

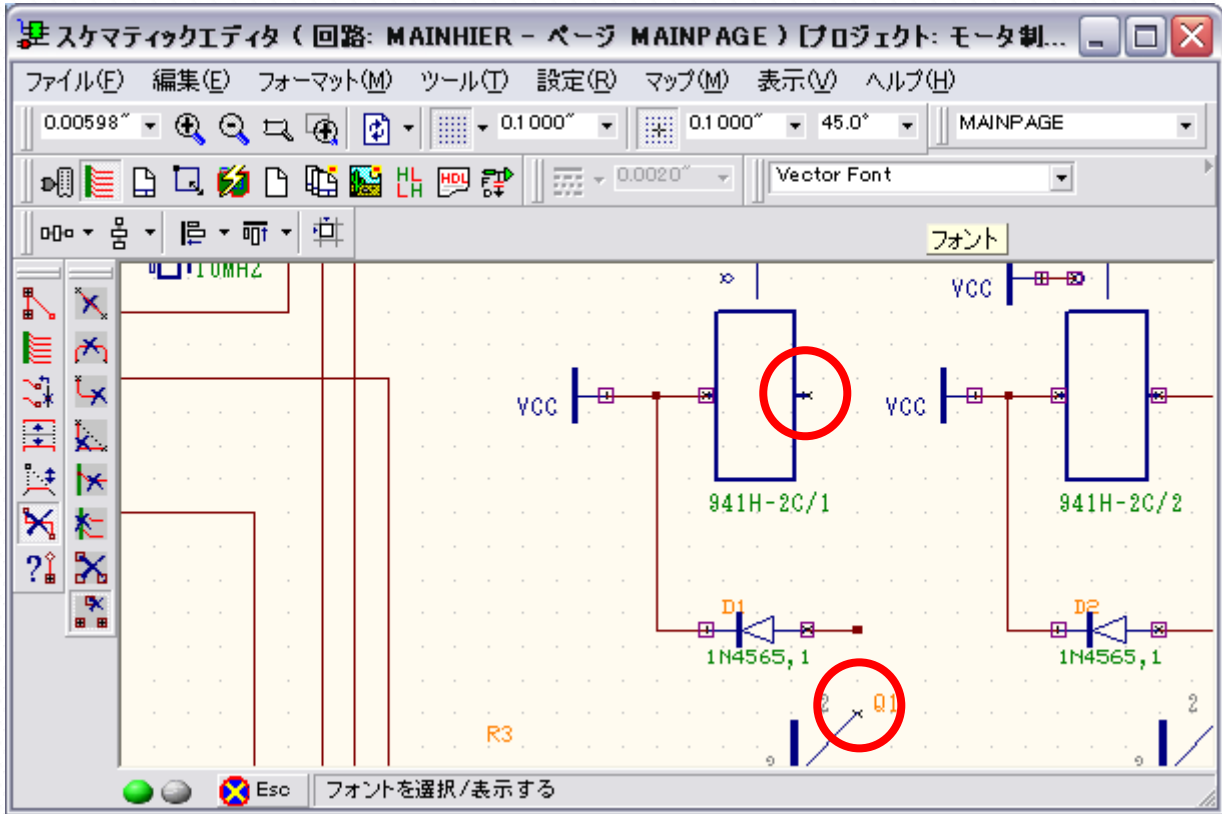
ネットのプロパティを確認するとネット名称“UN30”には3つのピンが登録されていることが確認できます。ここで、ネットに登録されたピンはノードと呼ばれ、配線を削除する際には、ネットの登録（ノード）を処理する必要があります



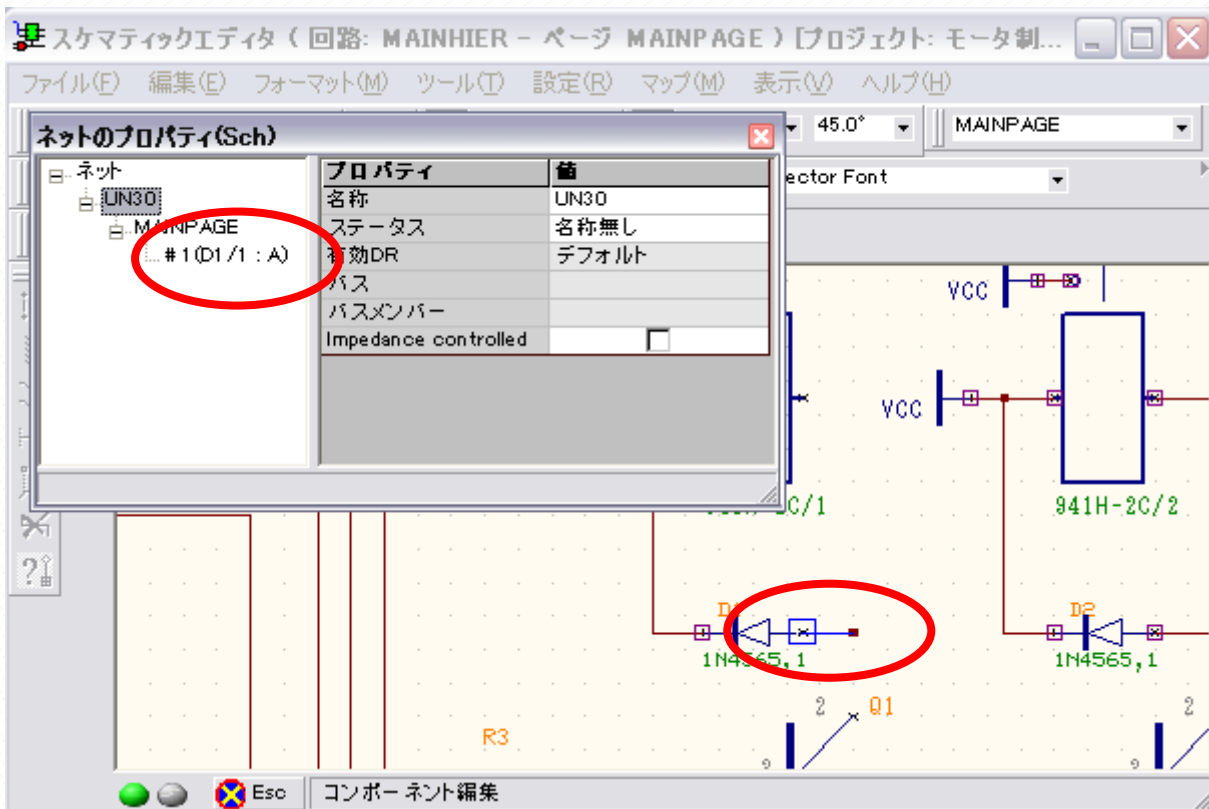
配線をクリックすると削除の確認がなされますので、“YES”をクリック。



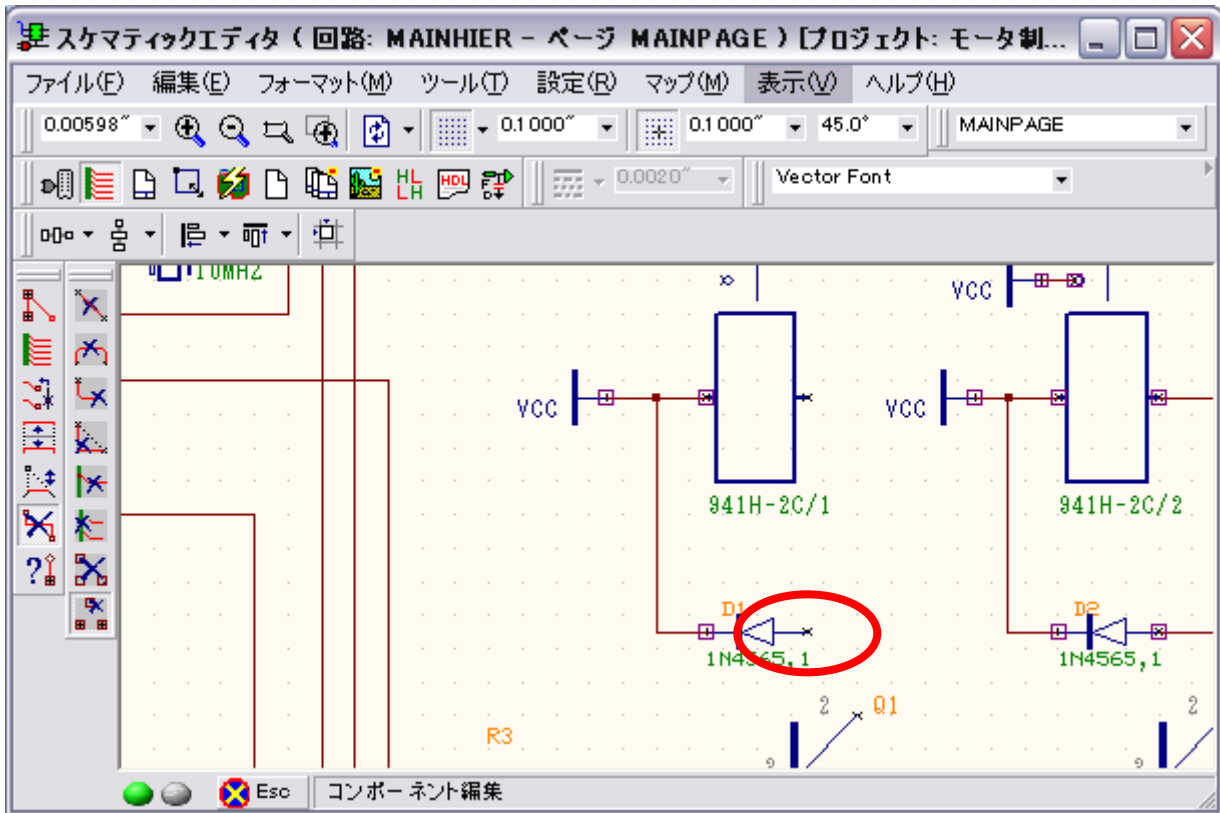
不要な配線が削除されます。同時にピンの上に表示されていた四角“ノード”の表示が無くなり、接続情報を含め修正されたことがわかります。



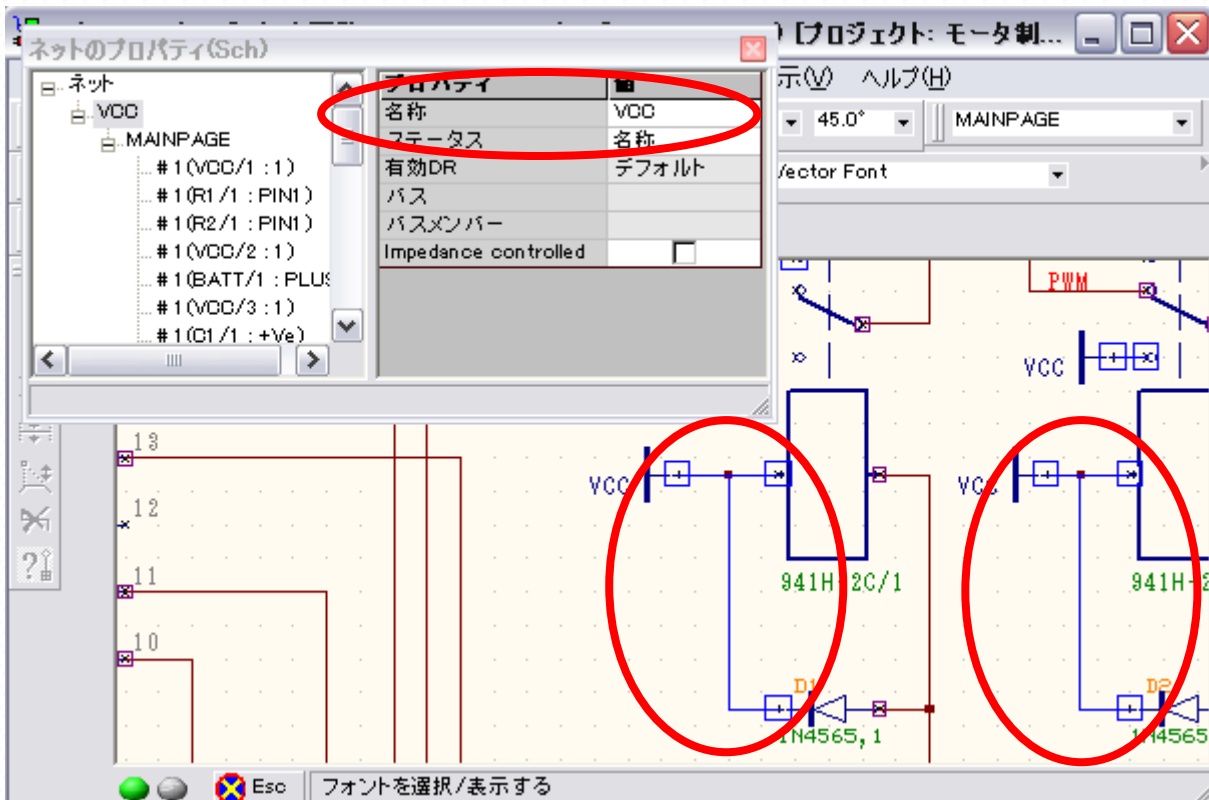
ただし、ダイオードに接続されている箇所は、配線の端が残っているため、他との接続はなされていませんが、接続情報が残っています。(ネットプロパティで確認)



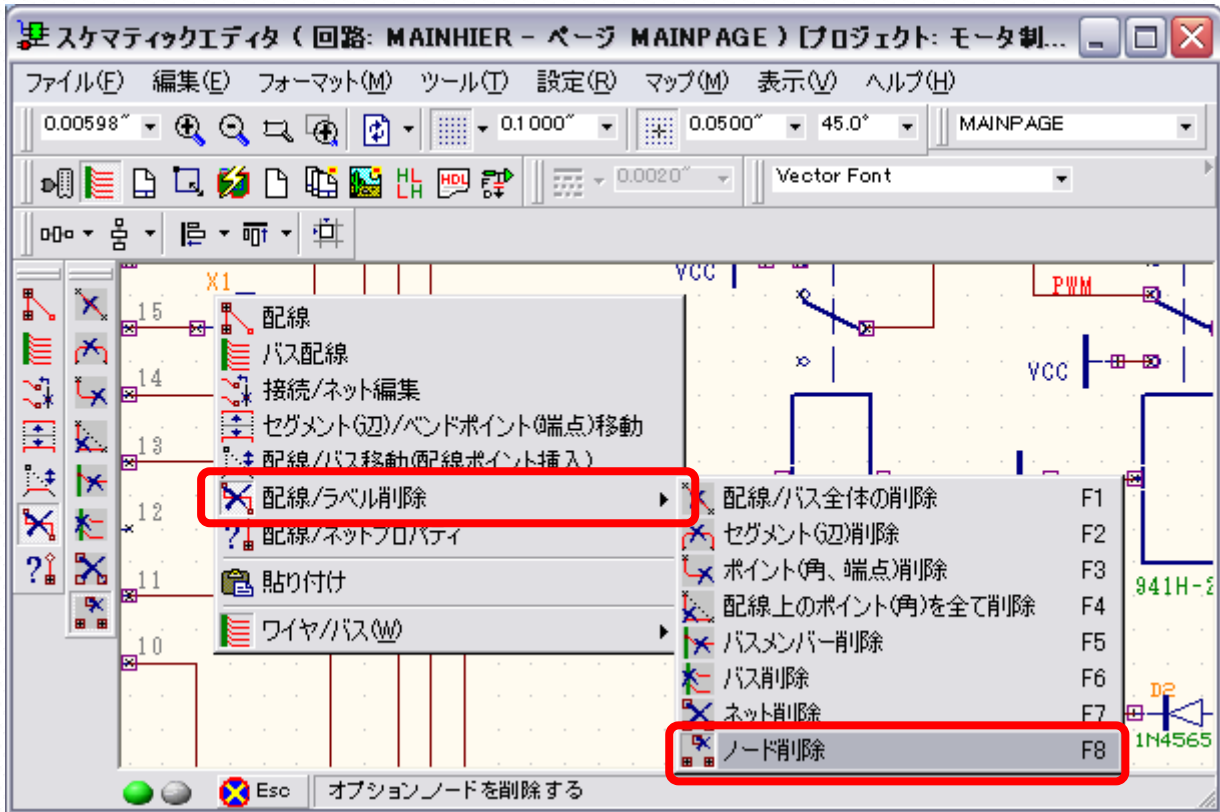
ネットへの登録ピンが1つだけの場合、特に処理しなくても回路自体への影響はありませんが、削除する場合は、配線を完全に削除します。



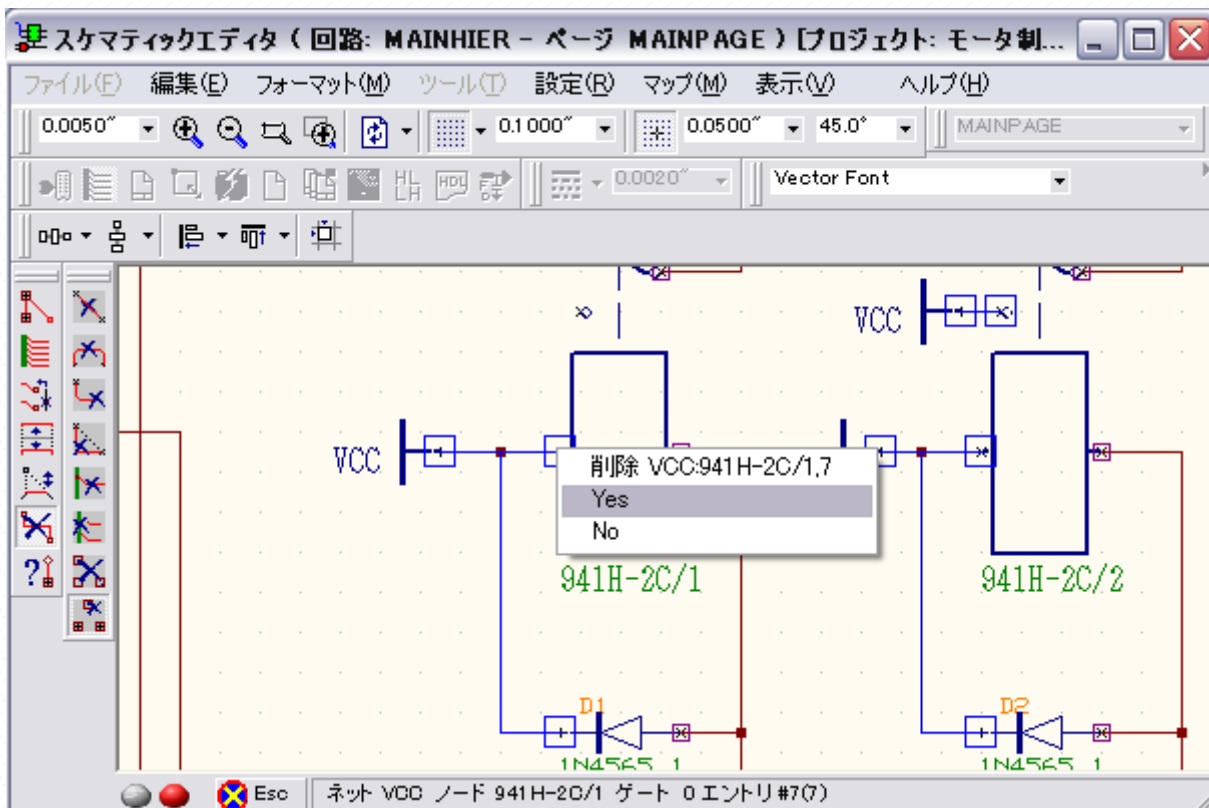
SPL~等、特に名称が入力（指定）されているネットに関しては、配線のみではなく、ノード自体を処理する必要があります。また電源ラインは同じ記号に接続されている配線は、全て同じネットとして登録するように設定された部品ですので、処理を行う際には、“電源記号以外のノード”を処理します。



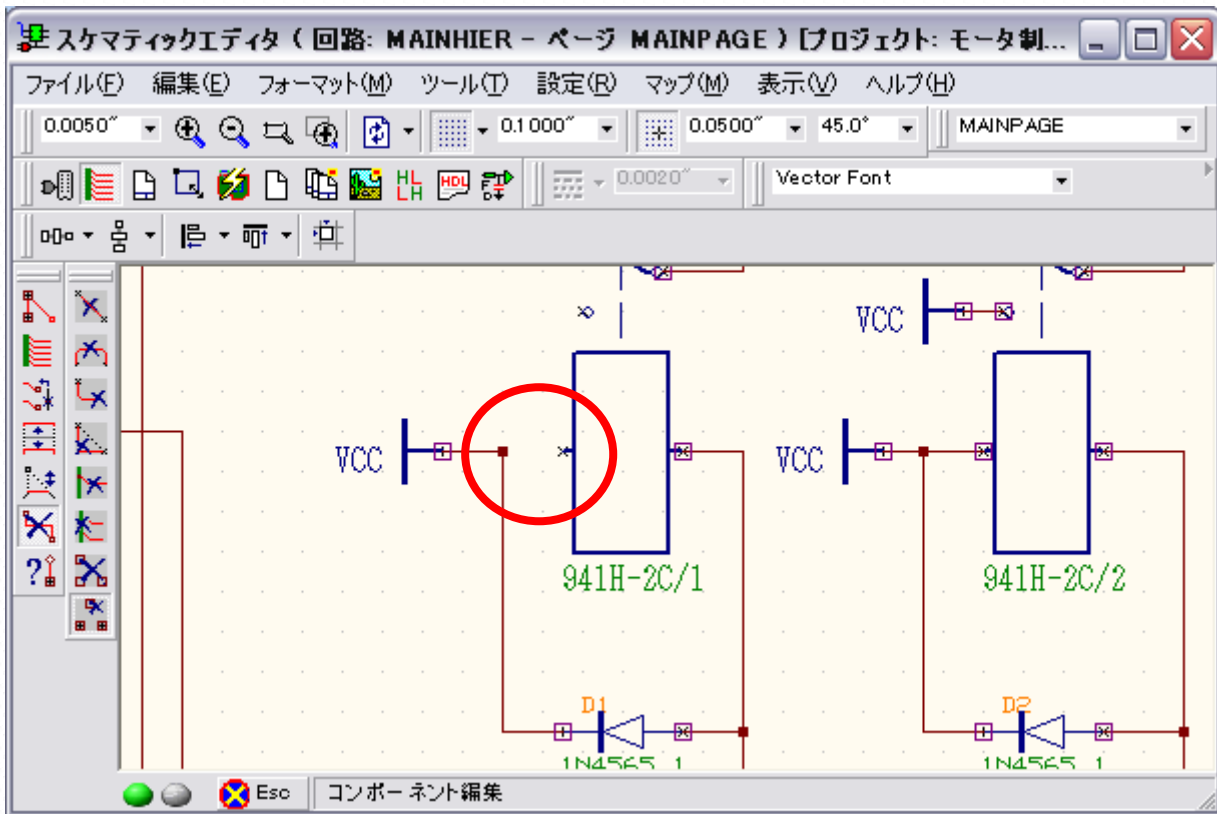
配線/ラベル削除、オプションツールノードの削除を選択します



電源記号以外の部品のピンの上でクリック確認画面で“YES”をクリックします。



部品のピンに表示されていたノード表示が無くなり、同時に、ピンからの配線が一部削除されます。



このとき、他の名称無し (UN~) ネットと同じく、配線のみを削除してしまうと、ノード(ネットへの登録)が残ってしまいますので注意してください。

